

今月の株式市場見通し

先月23日の欧州の銀行に係るストレステスト（不良債権査定後の自己資本比率の調査）の結果発表により、短期的には、ギリシャ危機に端を発した金融不安は収束し、為替（ユーロ/ドル）もユーロ（1ユーロ1.25ドルから1.30ドルへ上昇）が、また世界的に株式も買い戻され、5月から始まったリスク回避相場は終了したものと考えられます。

現在、世界各国がリーマン・ショック後の景気刺激策から財政緊縮策に一齐にカジを切り、また、新興国は、価格上昇によるインフレ懸念もあり金融引き締め（政策金利の引き上げ）に動いており、加えて、直近、アメリカ・新興国で弱い経済指標が発表されていることから、市場では、世界的に景気が大きく減速してしまうのではとの懸念が広がっています。

一方で、日・米・欧企業の第2四半期（4～6月）決算が発表されていますが、市場予想に対して上振れが相次いだ前期ほどの勢いはありませんが、順調な業績（米国約35%増益-S&P500ベース）を示しており、特に第2四半期は、コスト削減を含めた企業のキャッシュフロー（現金収支）が大きく改善していることが特徴と分析できます。

今後の株式市場は、アメリカ・ヨーロッパの金融緩和政策の維持、長期化による金余り並びに企業の潤沢なキャッシュフローを勘案すると、「景気は減速するも、ソフトランディング（次なる成長のための安定成長）の過程にある」との、景気の先行きに対する自信度が再度高まるに連れ、需給面から株式市場を支援することとなるでしょう。

日本の株式市場に気になるドル円の為替動向ですが、米国の金融緩和の長期化観測に伴う日米金利差の縮小により、足元は円高で推移しておりますが、ファンディング通貨としての円の見直し並びに対ドルのアジア各国為替高と相関が高い日本株式市場の上昇に伴い、徐々に円安方向に修正されていくものと予測しております。

株 練 場

2010年
8月号

西村証券
本店営業部

TEL 075-221-9390

株練場コラム

「けいおん!!」というテレビアニメが人気を集めています。オープニングとエンディングで流れる歌がそれぞれ、アニメソングとして初の快挙となるCD売上ランキングの1位と2位を同時に獲得、という点でも話題を集めている作品なのですが、制作元が京都に本社を置く「京都アニメーション」であり、その舞台設定が地元としては特に見逃せないチェックポイントなのです。

「けいおん!!」は、軽音楽部に所属する5人の女子高生が架空の街で送る日常を描いた作品なのですが、背景に登場する電車が「叡電」そのものであったり、電車の駅がいかにも「修学院」だったり、主人公たちが楽器を買いに行く店「10GIA」が地元の某上場企業の「三条本店」だったり（同店登場回のエンディングで「撮影協力」のクレジットが流れたそうです。また、同社では現在「けいおん!!」DVDのキャンペーンも実施中と）、「いかにも鴨川にしか見えない」川のたもとで花火大会を見ているシーンだったり…。京都の街を知る人にとって、「これはあの場所?!」というように突っ込みどころ満載な作品なのです。

さらに、このほど「平成22年国勢調査」の京都府イメージキャラクターへの採用が同番組公式サイトで発表されるなど、「京都」のイメージがますます強まる「けいおん!!」。ふだんあまりアニメを見ない、あるいはアニメに興味のない方もぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.

〒600-8007 京都市下京区四条通高倉西入立売西町 65 番地

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号 加入協会：日本証券業協会 主な事業：金融商品取引業

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮下さい。